

〈特集「ヴォイスとその周辺」〉

アカン語のヴォイスとその周辺 Voice and related expressions in Akan

古閑 恭子¹, ダニエル・アーチャンボン²
Kyoko Koga, Daniel Acheampong

¹ 高知大学人文社会科学部
Faculty of Humanities and Social Sciences, Kochi University

² 株式会社オートネット
Autonet Co., Ltd.

要旨：本稿はアカン語のヴォイスとその周辺に関する資料を提示する。データ収集には『語学研究所論集』第25号の英語版調査票(4.「ヴォイス」)を使用した。

Abstract: This article provides Akan data collected by using the questionnaire ‘Voice’ designed by Shinjiro Kazama.

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002000403>

キーワード：アカン語, ヴォイス

Keywords: Akan, voice

1. はじめに

アカン語はガーナ共和国に話されるニジェール・コンゴ語族クワ語派に属する言語である。アサンテ、アクアペム、ファンテ、アノマボ・ファンテ、アブラ・ファンテ、アチェム、アゴナ、アセン、ダンチラ、クワウ、ゴムア、アハフォ各方言に下位分類される(Eberhard, Simons, and Fennig 2020)。ここで対象とするのはアサンテ方言である。データ収集は、『語研論集』第25号の英語版調査票を使用し(4.「ヴォイス」)、アーチャンボン(男性・34歳、アシャンティ州マンボン出身)が、各例文に相当する、あるいは類似、関連するアカン語文を言って古閑が記録する形で行った。必要に応じて、具体的用法や使用場面など、アーチャンボンによる説明も記載した。

2. 資料

- (1) epónó=nó bué-eyé.
door=DEF open-PST
(風などで) ドアが開いた。
- (2) epónó=nó é=bué-eyé.
door=DEF INAN.SUB=open-PST
(誰かが開けて) ドアが開いた。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

- (3) o=bué-e pónó=nó.
3PL.SUB=open-PST door=DEF
彼がドアを開けた。

アカン語では基本的に自動詞他動詞は同形である。bue は (1), (2)のように自動詞としても(3)のように他動詞としても用いられる。(1)は(風などで)自らドアが開いた, を, (2)は行為者など外的要因を含意する。なお, アカン語は受身文がないため, 「ドアが開けられた」に相当する文はない。

- (4) epónó=nó bu-i.
door=DEF break-PST
ドアが壊れた。

- (5) obí bu-u pónó=nó.
someone break-PST door=DEF
誰かがドアを壊した。

bu「壊す, 壊れる」も同様。自動詞文(4)では自ら壊れたのか誰かが壊したのかわからない。行為者を明示するには他動詞文(5)で表す。

- (6) me=ma-a mí=!núá=nó gyiná-ayé.
1SG.SUB=give-PST 1SG.POSS=brother=DEF stand-PST
私は弟を立てさせた。(許可使役)

- (7) me=hye-ε mí=!núá=nó {ma-a ó=gyiná-ayé/ ma-a=nó
1SG.SUB=cover-PST 1SG.POSS=brother=DEF give-PST 3SG.SUB=stand-PST/ give-PST=3SG.OBJ
gyiná-ayé}.
stand-PST
私は弟を立てさせた。(強制使役)

- (8) me=ma-a mí=!núá=nó to-o dwóm.
1SG.SUB-give-PST 1SG.POSS=brother=DEF sing-PST song
私は弟に歌を歌わせた。(許可使役)

- (9) me=hye-ε mí=!núá=nó {ma-a ó=to-o/ ma-a=nó
1SG.SUB-cover-PST 1SG.POSS=brother=DEF give-PST 3SG.SUB=sing-PST give-PST=3SG.OBJ
to-o} dwóm.
sing-PST song
私は弟に歌を歌わせた。(強制使役)

- (10) maamé=nó ma-a mmɔ́frá=nó ko-dí-i agóró.
mother=DEF give-PST children=DEF ITIV-enjoy-PST play
(遊びに行きたがっているのを見て) 母は子供に遊びに行かせた。

- (11) maamé=nó hye-ε mmɔfrá=nó {ma-a wó=kɔ-tó-ɔ/
 mother=DEF cover-PST children=DEF give-PST 3PL.SUB=ITIV-buy-PST
 ma-a=wón kɔ-tó-ɔ} páanoó.
 give-PST=3PL.OBJ ITIV-buy-PST bread
 (遊びたがっている子供に無理やり) 母は子供をパンを買いに行かせた.

使役は動詞 ma 「与える」, hye 「覆う」を用いて迂言的に表す。(6), (8), (10)は許可使役(被使役者の希望を許可)で, (7), (9), (11)は強制使役(命令して立たせた, あるいは直接手を下して立たせた, など). 自動詞からの使役, 他動詞からの使役に形の上で違いはない.

- (12) me=hye-ε mí=!núá=nó ataadéé.
 1SG.SUB=put.on-PST 1SG.POSS=brother=DEF clothes
 私は弟に服を着せた.

- (13) me=ma-a mí=!núá=nó hye-ε ataadéé.
 1SG.SUB=give-PST 1SG.POSS=brother=DEF wear-PST clothes
 私は弟にその服を着させた。(許可使役)

- (14) me=hye-ε mí=!núá=nó {ma-a ó=hye-ε/
 1SG.SUB=cover-PST 1SG.POSS=brother=DEF give-PST 3SG.SUB=put.on-PST
 ma-a=nó hye-ε} ataadéé.
 give-PST=3SG.OBJ wear-PST clothes
 私は弟にその服を着させた。(強制使役)

(12)は hye 「着る／着せる」を用いた他動詞文で, 直接手を下して着せた, の意。(13)許可使役文は希望許可あるいは受益を含意し, 「着させてあげた」の意. 言語による命令などにより直接手を下さず「着させる」は, (14)のように強制使役文で表す.

- (15) me=de nwómá=nó ma-a mí=!núá.
 1SG.SUB=take book=DEF give-PST 1SG.POSS=brother
 私は弟にその本をあげた(手渡した).

- (16) me=ma-a mí=!núá=nó nwómá=nó.
 1SG.SUB=give-PST 1SG.POSS=brother=DEF book=DEF
 私は弟にその本をあげた.

物の授受は動詞 ma を用いる.

- (17) me=kan-n nwómá kyeré-ε mí=!núá=nó.
 1SG.SUB=read-PST book show-PST 1SG.POSS=brother=DEF
 私は弟に本を読んだ.

(18) me=kan-n nwómá ma-a mí=!núá=nó.
 1SG.SUB=read-PST book give-PST 1SG.POSS=brother=DEF
 私は弟に本を読んであげた。

(19) mí=!núá kan-n nwómá kyeré-ε=me.
 1SG.POSS=brother read-PST book show-PST=1SG.OBJ
 兄は私に本を読んだ。

(20) mí=!núá kan-n nwómá ma-a=me.
 1SG.POSS=brother read-PST book give-PST=1SG.OBJ
 兄は私に本を読んでもくれた。

授受動詞 *ma* が恩恵の授受においても補助動詞として使われる。恩恵の授受を含意しない(17), (19)に対して, (18), (20)は恩恵の授受を含意する。授恩恵と受恩恵の区別はない。

(21) mé=maamé twa-a mí=tírín!wíí.
 1SG.POSS=mother cut-PST 1SG.POSS=hair
 母は私の髪を切った。

(22) mé=maamé twa-a mí=tírín!wíí ma-a=me.
 1SG.POSS=mother cut-PST 1SG.POSS=hair give-PST=1SG.OBJ
 私は母に髪を切ってもらった。

「私は母に髪を切ってもらった」も同様に, 授受動詞 *ma* を補助動詞として使った構文で表す。受恩恵を含意しない(21)に対して(22)は含意する。

(23) me=hohóró-o me=hǒ.
 1SG.SUB=wash.RED-PST 1SG.POSS=body
 私は(自分の)体を洗った。

(24) me=hohóró-o me=nsá.
 1SG.SUB=wash.RED-PST 1SG.POSS=hand
 私は手を洗った。

(25) ɔ=hohóró-o ne=nsá.
 3SG.SUB=wash.RED-PST 3SG.POSS=hand
 彼は手を洗った。

(26) ɔ=hohóró-o=nó nsá.
 3SG.SUB=wash.RED-PST=3SG.OBJ hand
 彼は彼の手を洗った。

「自分の体／手を洗った」という時, (23)から(25)のように再帰の表示のない所有名詞句を項として表現する。(自分ではない) 誰かの手を洗った, という時は, (26)のように対象人物を項とし, 身体部位を切り離して表現する.

- (27) ɔ=do ne=hó.
3SG.SUB=love.STA 3SG.POSS=RP
彼は自分を愛している.

一方, 対象が身体部位でなければ再帰代名詞 hó を用いる. hó は「身体」から来ている.

- (28) me=tɔ-ɔ nwómá=nó ma-a me=hó.
1SG.SUB=buy-PST book=DEF give-PST 1SG.POSS=RP
(自分のために) 私はその本を買った.

自分のためにある行為を行う場合, 授受動詞 ma を用い, 項に再帰代名詞 hó の所有形を取る.

- (29) wón=bobó-ɔ wón=hó.
3PL.SUB=beat.RED-PST 3PL.POSS=RP
彼らは(互いに)殴り合っていた.

- (30) wón=do wón=hó.
3PL.SUB=love.STA 3PL.POSS=RP
彼らは愛し合っている.

相互的行為も再帰代名詞を用いて表す.

- (31) wón=bɔ-ɔ mú kɔ-ɔ kúró=nó mú.
3PL.SUB=unite-PST in go-PST town=DEF in
その人たちは(みんな一緒に)街へ行った.

- (32) wón=kɔ-ɔ kúró=nó mú bɔ-ɔ mú.
3PL.SUB=go-PST town=DEF in unite-PST in
その人たちは街へ行って一緒になった.

衆動は動詞句 bɔ mú 「一緒になる」を用いた動詞連続構文で表現する. 動詞連続構文では出来事の生起順に動詞が生起する. (31)は「一緒に行った(一緒になって行った)」だが, (32)は着いた時は一緒になったが一緒に行ったか別々に行ったかはわからない.

- (33) síní=nó ma {wú=sú/ wó=té} nisúó.
film=DEF give 2SG.SUB=cry.HAB 2SG.SUB=pluck.HAV tears
その映画は泣かせる(その映画を見ると泣いてしまう).

「その映画は泣ける」は許可使役文で表現する.

- (34) me=paé-e kosúá=nó.
 1SG.SUB=crack-PST egg=DEF
 私は卵を割った.

- (35) kóop=nó fri-i me=nsámú paé-e.
 glass=DEF depart-PST 1SG.POSS=palm crack-PST
 コップが手から落ちて割れた.

「私は卵を割った」が「私」を主語とした他動詞文で表すのに対し(34), 「うっかり落として割った」は「コップ」を主語とした自動詞文で表す(35).

- (36) nnó!rá me=nom-m kófè bebre na/ntí me=a-n-tumí á-n-ná.
 yesterday 1SG.SUB=drink-PST coffee many CONJ 1SG.SUB=PRF-NEG-be.able PRF-NEG-sleep
 きのう私はコーヒーを飲みすぎて (飲みすぎたので) 眠れなかった.

- (37) nnó!rá ná me=wo adwúamá bebre ntí/na me=a-n-tumí
 yesterday then 1SG.SUB=have.STA work many CONJ 1SG.SUB=PRF-NEG-be.able
 á-n-ná.
 PRF-NEG-sleep
 きのう私は仕事がたくさんあって (たくさんあったので) 眠れなかった.

随意／不随意の不可能の区別はない.

- (38) mi=tí yé=me yá.
 1SG.POSS=head do.HAB=1SG.OBJ pain
 私は頭が痛い.

- (39) mi=tí paé/dwá=me.
 1SG.POSS=head crack.HAB=1SG.OBJ
 私は頭が痛い.

「頭が痛い」は、「頭」を主語, 「私」を目的語として「私の頭が私を痛くする」(38), 「私の頭が私を割る」(39)のように表現する.

- (40) ni=tírinwíí wa.
 3SG.POSS=hair be.long.STA
 彼女の髪は長い.

- (41) ni=tírinwíí yε téntén.
3SG.POSS=hair COP long
彼女の髪は長い.
- (42) ɔ=wɔ tírí!nwíí téntén.
3SG.SUB=have.STA hair long
彼女は長い髪をしている.

「彼女は髪が長い」は, (40), (41)のように「彼女の髪は長い」と表現するのが最も自然. または(42)のように所有文で表す(「アカン語の所有・存在表現」参照).

- (43) ɔ=bɔ-ɔ=no abátí.
3SG.SUB=beat-PST=3SG.OBJ shoulder
彼は(別の)彼の肩をたたいた.
- (44) ɔ=bɔ-ɔ ne=abátí.
3SG.SUB=beat-PST 3SG.POSS=shoulder
彼は自分の肩をたたいた.
- (45) ɔ=sɔ-ɔ=no nsá.
3SG.SUB=grab-PST=3SG.OBJ hand
彼は(別の)彼の腕をつかんだ.
- (46) ɔ=sɔ-ɔ ne=nsá.
3SG.SUB=grab-PST=3SG.OBJ 3SG.POSS=hand
彼は自分の腕をつかんだ.

「彼は(別の)彼の肩をたたいた」「彼は(別の)彼の腕をつかんだ」は, (43), (45)のように人を直接項とし, 身体部位を切り離して表現する(分割支配型). (44), (46)のように身体部位の所有形を項とすると, 「自分の肩をたたいた」「自分の腕をつかんだ」になる.

- (47) mi=hũ-ũ sé ɔ́=ɔ́-!bá.
1SG.SUB=see-PST COMP 3SG.SUB=PROG-come
私は彼がやって来るのを見た.
- (48) mi=nim sé ɔ́=bé-bá n!né.
1SG.SUB=know.STA COMP 3SG.SUB=FUT-come today
私は彼が今日来ることを知っている.

知覚構文「私は彼がやって来るのを見た」(47), 「私は彼が今日来ることを知っている」(48)はいずれも複文で表す.

(49) o=nim sé onó=ánkásá bé-dí nkoním.
 3SG.SUB=know.STA COMP 3SG=REFL FUT-enjoy victory
 彼は自分（のほう）が勝つと思った。

(50) o=nim sé o=bé-dí nkoním.
 3SG.SUB=know.STA COMP 3SG.SUB=FUT-eat victory
 彼は自分／（別の）彼が勝つと思った。

(51) o=nim sé onó bé-dí nkoním.
 3SG.SUB=know.STA COMP 3SG FUT-eat victory
 彼は（別の）彼が勝つと思った。

「彼は自分（のほう）が勝つと思った」（補文中の再帰）は、補文中の主語に再帰接語=ánkásá を付けて表す(49)。一方再帰接語の表示がない(50)では従属節中の主語は主節の主語を指すこともできるし、別の誰かを指すこともできる。(51)のように人称接語でなく人称代名詞にすると必ず別の誰かを指す。

(52) me=nom-m kóop=nó mú nsúó=nó bi.
 1SG.SUB=drink-PST glass=DEF in water=DEF some
 私は（コップの）水（の一部）を飲んだ。

(53) me=nom-m kóop=nó mú nsúó=nó nyináá.
 1SG.SUB=drink-PST glass=DEF in water=DEF all
 私は（コップの）水を全部飲んだ。

部分／全体に及ぶ動作を区別する文法化した要素はなく、「いくらか」(52)「全部」(53)のような修飾要素によって区別する。

(54) o=n-wé !nám.
 3SG.SUB=NEG-chew.HAB meat
 彼は肉を食べない。

恒常的な否定は、習慣の否定と同じ形で表す。

(55) awó wó mú !nné.
 coldness exist.STA in today
 今日は寒い。

(56) {é=yɛ/ ewíém yɛ} nyunu nné.
 INAN=COP weather COP cold today
 今日は寒い。

「今日は寒い」の表現には(55)のように「寒さが中にある」という存在文と、(56)のように「天気」あ

るいは無生物主語接語を主語とした形容詞文とがある.

- (57) awó de=me.
coldness seize.STA=1SG.OBJ
私は (何だか) 寒い.

- (58) me=té awó.
1SG.SUB=feel.HAB coldness
私は寒さを感じる.

「私は (何だか) 寒い」は(57)のように「寒さが私を捉える」と表現する。(57)は寒さが体の中に入っているのに対し, (58)は体の外に寒さがある (従って防ぐことができる).

- (59) ε=yε-ε=me wánwá sé nnipá bebreε wɔ hó.
INAN=do-PST=1SG.OBJ surprise COMP people many exist.STA there
人がとても多いことに私は驚いた.

「驚いた」は感情を引き起こす対象を主語, 感情主体を目的語として表す. 感情主体を主語とする言い方はない.

- (60) nsúó hye-ε/ fri-i aséé tɔ-e.
water cover-PST depart-PST bottom fall-PST
雨が降り始めた.

現象文・現場での直接体験が特別な語順や特別な構文で表されるということはないようだ.

- (61) nwómá weí, ye=tó páá.
book this 1PL.SUB=buy.HAB well
この本はよく買われる.

- (62) nwómá weí tón páá.
book this sell.HAB well
この本はよく売れる.

「この本はよく売れる」は, (61)のように不定主語文「(人が) よく買う」と表現するか, (62)のように本を主語とし, ton「売る」を自動詞として用いて「この本は売れる」と表現する (中間構文). (62)は「高く売れる, 儲けがある」を含意する.

		略号	
á	高声調	ITIV	去辞
a	低声調 (表記なし. ただし単独で音節末子音に実現する場合 ñ)	NEG	否定
!á	ダウンステップ高声調	OBJ	目的接語
1	1 人称	PL	複数
2	2 人称	POSS	所有接語
3	3 人称	PRF	完了
COMP	補文標識	PROG	進行
CONJ	接続詞	PST	過去
CONS	順続	RED	重複
COP	コピュラ	RP	再帰代名詞
DEF	定	REFL	再帰
EMPH	強調	SG	単数
FUT	未来	STA	状態
HAB	習慣	SUB	主語接語
INAN	無生物		

参考文献

Eberhard, D.M., G.F. Simons, and C.D. Fennig eds. (2020) *Ethnologue: Languages of Africa and Europe, Twenty-third edition*, Dallas, Texas: SIL International.

執筆者連絡先 : koga@kochi-u.ac.jp

原稿受理 : 2023 年 12 月 12 日